

平成 20 年度後期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 1、問題 2、問題 3、問題 4 のうちから 2 問を選択し、それぞれ別の解答用紙を用いて解答しなさい。なお解答スペースの一行目には、解答した問題の番号を記すこと。

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

## 問題 1

心理学は科学であり、心理法則を追求する、ということになっている。けれども実際には、測定値の変動がきわめて大きいので、例えば「物理法則」と比較できるような「心理法則」が存在すると主張することには躊躇するほどである。左右に置かれた 2 本の水平線分の長さを比較するだけなら随分正確に判断できる。しかし矢羽根をつけた  $\longleftrightarrow$  と  $\rightrightarrows$  の中央の水平線分の長さを比較するのは難しい。測定値は個人毎で大きく変動するだけでなく、同一個人内でもやる度にかなり変動する。矢羽根がつくと測定値はなぜこれ程までに変動するのだろうか。またこのような不安定なデータから「安定した法則」を導き出すために、あなたならどのように工夫するだろうか。論じて下さい。

平成 20 年度後期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 2

「独立変数」という言葉は、知覚心理学、社会心理学、行動分析学などのそれぞれの立場において、異なった形で定義されている。代表的と思われる考え方を 3 つ挙げ、相互に比較しなさい。

平成 20 年度後期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 3

言語使用と社会心理学的要因との関係について、最近の研究例を引用しながら論じなさい。

平成 20 年度後期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 4

文字や物体，人の顔などを見たときに，その対象が何であることをパターン認識(pattern recognition)という。鋳型照合，特徴分析，構造記述，文脈効果，トップダウン処理，ボトムアップ処理などの用語を用い，人間のパターン認識のプロセスについて簡潔に説明しなさい。